

報告事項(1) 避難所開設の手順書（FMB）の現状について

1 FMB（ファーストミッションボックス）の概要等について

南海トラフ地震のような突発的に起こる大災害時には、市職員がすぐに避難所に駆け付けることができない可能性があり、避難所を開設するためには避難者の協力が必要不可欠となる。そういった場合に避難所に集まった避難者が自分たちで迅速かつ適確な避難所開設と運営が行えるように、「初めに（ファースト）やるべき任務（ミッション）を記載した指示書と、最低限必要となる資材を入れた箱（ボックス）」を市内各避難所に設置する取り組みである。令和2年度に市民を交えたワークショップを行い作成し、令和3年4月に各避難所に設置した。

2 FMBの現状について

(1) 各地区での訓練状況

市内指定避難所35箇所に設置後、碧南市自主防災会連絡協議会において、年1回以上のFMBを使用した訓練実施を依頼し、令和3年12月末で合同実施も含めて38ある自主防災会中、30の団体に訓練を実施

(2) 啓発状況

ア 防災講演会にてFMB考案者の危機管理教育研究所国崎信江氏による計7回の講演（令和3年6月25、26日、7月2、3日の午前午後各1回（7月3日午前は大雨警報発令により中止）参加者数計514名）

イ ピッチエフエムにおいて放送（令和3年5月19日）

ウ フリモかわら版9月号に掲載

エ 市広報誌に掲載（令和3年5月1日号及び令和4年1月1日号）

オ 市防災課ホームページにFMBのページを作成

カ FMBの概要動画（Y o u T u b e）を作成

3 今後の予定

(1) 各自主防災会と避難所の紐づけ

FMBを使った市民による避難所開設の実効性をさらに高めるため、各自主防災会にどこの避難所を担当したいかのアンケートを実施し、現在、担当避難所を調整中。来年度早い段階で紐づけを実施予定

(2) 各避難所へのキーボックスの設置及び運用

現状、大規模地震時には市職員が避難所施設の鍵を開ける想定であるが、発災時刻等によっては、市職員がすぐに駆けつけられない状況も発生することから、各避難所に暗証番号式のキーボックスを設置。暗証番号は、避難所開設員及び紐づけを行った自主防災会へ通知し、大規模地震の際にキーボックスを使用してもらう運用に来年度より変更。